

春光



太鼓部：郷土芸能部門最優秀賞受賞祝賀会



ご挨拶

京都橘中学校・高等学校春光会

会長 吉岡 春美

(旧姓 菱田 S 41年被服科卒)

吹き渡る風が青葉の香を運んでくる季節となりました。

卒業生の皆様には、同窓会春光会にご支援ご協力賜り誠にありがとうございます。

我が母校、京都橘中学校・高等学校では、本年度四月より、バレー部の監督だった、三輪欣之先生が学校長に着任され、大きな京都橘丸の船が大きな海原にスタートされました。春光会も学校発展のため、この船に乗せて戴きスムーズに航進出来る様、協力させていただきたく思っています。



ご挨拶

京都橘中学校・高等学校

校長 三輪 欣之

新緑の美しい季節となり、徐々に夏へと変わってゆくこの季節いかがお過ごしでしょうか。日頃より母校へのご支援をいただき誠にありがとうございます。

二〇一三年度は太鼓部が夏の全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門において最優秀賞をとりました。これはスポーツでいうと日本一にあたる快挙です。また男子サッカー部は高校選権で今年度も国立競技場まで勝ち進み一昨年度の準優勝につき第三位となり、バレーボール部はインターハイ・国体につき春高バレーでもすべてベスト8という結果となりました。冬休み中ということもあり、一昨年同様このふたつのクラブに対しては全校に応援を呼び掛けて吹奏楽部や太鼓部などの

今年の三月十八日の「朝日新聞」に京都橘が新聞一面に紹介されました。学校の歴史、クラブ活動等。私の知らなかった事も沢山知り橘を卒業させて頂き感謝しております。ここまで、築き上げられた、諸先生方、先輩後輩の努力によって今日の京都橘が居ると確信しました。

春光会では恩師、先輩、後輩と世代を問わず、お会いできる機会を作っております。それには、橘祭に参加、総会、総会後の懇親会、懇親会は退職された先生方の会「橘翔会」と合同企画です。秋の散策も合同です。一人でも多くの方が参加していただける様、宜しくお願い申し上げます。卒業生の皆様のご健勝と母校の益々の発展を心よりご祈念申し上げます。

多くのクラブ員と多くの生徒が駆けつけ一体となり応援することができました。吹奏楽部の活躍や陸上部のインターハイ出場含め「京都橘」をテレビ・新聞はじめいろんなところでみられたのではないのでしょうか。大学進学においても過去最高に迫る三八名の国公立大学への合格をはじめ、多くの生徒が第一志望の大学合格を勝ち取っています。こういう素晴らしいことが実現できているのも、ひとえに伝統の力だと感じています。

二〇一四入学生徒数は中学校・高等学校とも少し定員を割る結果となりました。二〇一五入試では全力を尽くして定員確保を目指します。

最後に学園創立一二〇周年に向けて理事会の下に委員会を設置して、長期ビジョン・中期プランを策定中です。十月には公表できる予定ですのでいますのでまたその時期にはご報告させていただきます。現状に満足せず社会で活躍する人材を世に送り出すために今後も努力を続けていきますので変わらぬご支援をお願い致します。

会務報告

自2012年4月 ～ 至2013年3月

2012年

- 4月7日 入学式（臨席）
新入生 中学校52名・高等学校366名
- 4月16日 太鼓部定期演奏会（お祝金）
- 6月9日 役員会
- 6月16日 春光会総会（新・都ホテル）
学園創立110周年記念祝賀会
- 7月28日 役員会
バレーボール部・陸上競技部
インターハイ出場（お祝金）
- 9月14日 役員会
- 9月15日 学園祭出店・作品展示
- 10月 太鼓部高文祭優良賞受賞
女子バレーボール部・陸上競技部
国体出場（お祝金）
- 11月24日 秋の散策（奈良大和路）
- 12月17日 男子サッカー部高校選手権大会出場
（お祝金）
- 12月17日 バレーボール部春高バレー
全国大会出場（お祝金）
- 12月23日・24日 吹奏楽部定期演奏会

2013年

- 1月26日 役員会
- 2月16日 役員会
- 2月28日 春光会入会式
- 3月1日 京都橘高等学校卒業式（臨席）
- 3月21日 京都橘中学校卒業式（臨席）

2013年度 春光会総会報告

6月15日（土）2013年度春光会総会が京都駅八条口
新・都ホテルに於いて開催されました。

会員29名 来賓2名の参加で第一部の総会が開会しました。

総会では開会のことばに続き「会長挨拶」「来賓祝辞」議事の進行へと進みます。「2012年度会務報告」「決算報告」「監査報告」そして「2013年度予算案」「役員案」の報告が終わり、いずれの議案も満場一致で承認されました。

総会終了後、毎年恒例の第二部、橘翔会・橘幸会との合同懇親会へと会場を移します。

懇親会では皆さんの笑顔と楽しい会話、懐かしい恩師や同窓生とのひと時を過ごしました。又「来年もお会いしましょう！」の言葉の聞こえる中、散会となりました。

皆様の参加をお待ち致しております。



【春光会2012年度決算】

自 2012年4月1日 至 2013年3月31日

収 入				
項 目	予 算	決 算	増 減	備 考
前年度繰越金	4,192,623	4,192,623	0	
入 会 金	2,640,000	2,620,000	△ 20,000	10000×262
預 金 利 息	5,000	687	△ 4,313	
寄付金収入	200,000	373,000	173,000	48人 お祝い・他
雑 収 入	50,000	20,900	△ 29,100	石鯨・学園祭売上げ他
基本財産より	0	0	0	
合 計	7,087,623	7,207,210	119,587	

支 出				
項 目	予 算	決 算	増 減	備 考
事 業 費	4,000,000	3,145,879	△ 854,121	新聞発行・発送、総会費用、記念品他
支部補助費	100,000	45,000	△ 55,000	美山支部補助・同窓会補助
慶 弔 費	200,000	180,000	△ 20,000	吹奏楽・太鼓・バレー部・陸上部祝金他
交 通 費	200,000	120,000	△ 80,000	役員会他
会 議 費	50,000	12,474	△ 37,526	会議運用諸費
事 務 費	100,000	33,528	△ 66,472	ハガキ、切手役員通信費他
寄付金支出	300,000	300,000	0	
予 備 費	10,000	0	△ 10,000	
基本財産へ組入	0	0	0	
次年度繰越金	2,127,623	3,370,329	1,242,706	
合 計	7,087,623	7,207,210	119,587	

基本財産

収 入		支 出	
前年度繰越金	6,564,074	次年度繰越金	6,565,111
受け取り利息	1,037	一般会計へ	0
組み入れ金	0		
合 計	6,565,111	合 計	6,565,111

財産目録

経 常 費 の 部	現 金		80,880
	郵便貯金	通常貯金	839,633
基本財産の部	京都銀行	普通預金	2,449,816
		定期預金	0
	京都銀行	普通預金	4,565,111
		定期預金	2,000,000
		合 計	9,935,440

【春光会2013年度予算】

自 2013年4月1日 至 2014年3月31日

収 入	金 額	備 考	支 出	金 額	備 考
入 会 金	2,250,000	225×10,000円	事 業 費	3,000,000	会報印刷、郵送費、記念品、総会費用他
預 金 利 息	5,000		支部補助費	100,000	1支部／学年・クラス会
寄付金収入	200,000	@1,000×200口	慶 弔 費	200,000	クラブ関係お祝い金 他
雑 収 入	50,000	石鯨売上げ等	交 通 費	200,000	役員会等
基本財産より	0		会 議 費	50,000	
前年度繰越金	3,370,329		事 務 費	100,000	
			寄 付 金	0	
			予 備 費	10,000	
			基本財産へ組入	0	
合 計	5,875,329		次年度繰越金	2,215,329	
			合 計	5,875,329	



難関国公立大学 現役合格はじめ 輝かしい大学合格実績

進路状況

第一一〇期生は、卒業生が二三人でしたが、三年連続で国公立合格者が三十名を超えました。国公立大学の合格は大阪大学、神戸大学、北海道大学をはじめ三十八名となりました。難関私立大学（関関同立）は七十一名の合格となりました。また、短期大学は十四名、専門学校は十八名の合格となっています。今年は就職者が二名あり、加えてプロ・実業団へ三名が進んでいました。

学校では、生徒の要望にこたえるため今年度も年末年始に教室を開放して支援してきました。

四月から始まった新年度では授業や

おもな大学の合格者数

◆国公立大学	
神戸大学	三八名
大阪大学	三名
北海道大学	一名
奈良女子大学	二名
大阪府立大学	三名
京都教育大学	二名
滋賀大学	二名
京都府立医科・ 山形・滋賀県立他	二名
◆私立大学	
関関同立	五四四名
産近龍佛	七一名
京都橘	一〇三名
早稲田・関西外国語大他	一七二名
◆短期大学	
	十四名
◆専門学校	
	十八名

特別講座をはじめ近隣大学の学部学科紹介やモチベーションアップの取組などで、進路実績がさらに向上するよう、生徒を指導、支援しています。

入試状況

（中学校）

二〇一四年度入試は全国的にも中学入試受験者が減少、中でも京都は近畿の他府県よりも減少率が高いのが特徴的でした。そんな中、過去最高の昨年には及ばなかったものの二七九名の志願者があり、初日受験者は減少しましたが、国公立中高一貫校や進学校との併願者が増加、国公立大学をめざす意欲的な小学生的の受験が目立ちました。しかしながら、全体受験者減少の影響で入学者は五十六名でした。伏見区や宇治市での入学

者がさらに増え、地元から受験したい学校になつてきています。Vコース開校から五年目、高校二年生になった一期生も、生徒会長として、学習のリーダーとして、また、海外研修にも多数参加するなど意欲的な学校生活を送っており、学校では今後も生徒達をしつかりサポートしていきます。

（高等学校）

高等学校入試は、昨年から内部進学者を迎えるため高等学校の外部募集定員が減少し合否ボーダーが上がっていますが、二〇一四年度も一、三二三名の志願者があり、引き続き本校への期待がうかがえました。しかしながら、国の就学支援金、京都府あんしん修学支援制度があるものの、京都市・乙訓地域での公立高校入試制度改変の影響を大きく受けることになりました。公立の専門学科や



人気の公立高校への複数回受験・合格者が増加し、入学者は内部進学者含めて二七〇名でした。二〇〇〇年男女共学から十五年目。今年度在校生の男女比率は四七・五三とほぼ半々の共学校になっています。

嬉しいことに、近年、卒業生のみならずからの受験相談も多く、親子二代・三代で、また、兄弟姉妹での受験・入学者が増えています。「橘ファミリー」として橘の輪が広がることが願っています。

入会式

卒業式を翌日に控えた2月28日(金曜日)春光会入会式が行われました。京都橘中学校・高等学校フェスティバルホールにて役員参加のもと、吉岡春美会長の祝辞に続き、卒業生代表 平野 紗友理さんに春光会会員証と入会記念品の贈呈がされ、新しく238名の方々が春光会会員に加わりました。

入会式



どんどん開こう 同窓会

春光会では、学年、コース、クラブ単位等の同窓会開催、企画を援助するための補助制度を設けています。開催を計画している会員は事務局まで一報ください。補助金は左記の内容です。

〔案内送付対象者数〕が

20～50人……………5,000円
51～100人……………10,000円
以上、50人を超える毎に
5,000円アップします。

対象

学年・コース・クラス・クラブ単位他
*補助を受けた場合、その対象者の名簿と、会報等で紹介したいため、報告書、写真等の提出が必要となります。



学園祭



恒例の橘祭が、9月14日(土)に開催されました。今回も例年通り「同窓会ルーム」前にて、手作り石鹸、食用口リリエ、ゴキブリオランに加えて、昨年好評だった手作りおかきに、今回初めてのみたらし団子、3色団子、洋菓子の販売もさせていただきました。

今回で残念ながら最後になってしまった石鹸や、人気のおかき、団子他は開店前から沢山の方に並んでいただき午前中には完売となりました。

また部屋の方では卒業生の作品展もあり、今回は窪田ヨシ子さん(昭和35年卒)の「テンペラ画」5点、三

上幸子さん(昭和35年卒)の押し花作品が展示され、陶芸教室(橘幸会)の作品展示とともに同窓会ルームに花を添えていただけました。

春光会は、これからも橘祭では同窓会ルームを設け懐かしい先生方やクラスメイト、クラブの先輩、後輩の方々が出会える場所として、開放したいと思っていますので、ぜひとも一度、橘祭に足をお運びください。



九月十一日(木) 合唱コンクール
九月十二日(金) 演劇コンクール
九月十三日(土) 橘祭

おじゃまします

広報です

今回は、二十五年度第三十七回全国高校総合文化祭長崎大会にて郷土芸能部門の最優秀賞を受賞した本校の「太鼓部」取材させていただきました。

この太鼓部は、一九八二年太鼓サークル（同好会）として発足しました。

余談ですが、私が高三の時、同級生数名が、その頃の修学（研修）旅行で教えていただいた「わらび座」から太鼓に興味を持ち、当時、学年の担任をされていた稲吉前校長先生に相談をして、同好会からスタートしたと記憶しています。そこから、紆余曲折、月日を重ね、昨年の最優秀賞を受賞するまでになりました。

この郷土芸能部門では、和太鼓部門と伝承芸能部門とが隔年で最優秀賞を受賞することになっており、奇数（西暦）の都市は、和太鼓部門が受賞します。太鼓部は、過去に三回優秀賞（文化庁長官賞）を受賞していますが、最優秀賞は初めての事でした。

その中心の二十八代目のメ



ンバーの方々は、昨年の橘祭にて引退をされ、取材にはアンケートというかたちで、旧部長西村宗一郎君、旧副部長大垣莉純君にお話を伺いました。

毎年、定期演奏会や全国文化祭への練習以外にも、近くの福祉施設や秋祭り他、二十カ所以上の外部公演、全国高校サッカー選手権大会や春の高校バレーに出場する仲間の応援にと忙しい日々を過すなか、福祉施設では訪れた老人保健施設のお年寄りの方が、演奏が始まって感動で五秒で涙を流し、と

でも喜ばれたというお話もお聞きしました。でも仲間で目標に向かい、一生懸命練習をして聞いていただいている方に喜んでいただいたときに、楽しいと思う反面、たくさん部員の気持ちがバラバラで、うまくまとめることができなかつた時が辛かつたとのことでした（旧部長、副部長談より）

太鼓部のレパートリーは、十数曲以上と聞いていましたが、そのなかでも二十八代目部員の方や現部長三年の石川大雅君も一番好きな曲が「京の四季」だそうです。

一番多く練習した曲で、この曲には、しんどい思い出、楽しい思い出、数えきれない仲間との沢山の思い出がつまつた曲だから…（旧部長、副部長談より）

この「京の四季」は、本校太鼓部コーチ北村多喜雄先生作曲による、オリジナル曲で京都の四季を表す四つの章からなり、冬の章は嵯峨野の竹林に粉雪を表し、春の章は伏見に古くから伝わる酒造りの唄をゆつくりとしたリズムと唄で、夏の章は、鳴り響く雷を組太鼓で表現。秋の章は、秋祭りを笑顔いっぱいの全員演奏で表した曲となっています。

この思い出の曲も大切にしながら、これからのクラブ活動、しんどい時も、辛い時も、辞めたい時もあるだろうけど、最後まで頑張ったら絶対いいことがあるから!!今の仲間を大切に頑張ってください!!後輩みんな素晴らしい!!（旧部



長、副部長談より）と最後にメッセージをくれました。

最後に、写真もありますが、昨年十月六日（日）に全国高校総合文化祭最優秀賞受賞祝賀会が京都橘中学校・高等学校、太鼓部保護者会の共催により、新都ホテルにて二〇〇名以上のご列席のもと行われました。

また一つ、我が校の未来が楽しいなクラブが増えたと取材を通して喜ばしく思いました。

太鼓部の合言葉は「心はひとつ!」だそうです。この合言葉を語り継ぎ、さらなる飛躍を願っています。

クラブトピックス

2013年度の主なクラブの全国大会での戦績

吹奏楽部

- ◇第41回関西マーチングコンテスト **金賞受賞**
(9月 大阪府)

太鼓部

- ◇全国高校総合文化祭〈郷土芸能部門〉
最優秀賞・文部科学大臣賞受賞
(8月 長崎県)
みやこの文化まゆまる賞受賞
第33回近畿高等学校総合文化祭〈郷土芸能部門〉
(11月 三重県)
第2回全国高校生伝統文化フェスティバル

陸上競技部

- ◇全国高校総合体育大会
〈インターハイ〉
(8月 大分県)
◇日本ユース陸上競技選手権大会
女子100mで8位入賞
(10月 愛知県)

女子バレーボール部

- ◇全国高校総合体育大会
〈インターハイ〉
15年連続 17回出場 ベスト8
(8月 福岡)
◇国民体育大会〈少年女子〉
7年連続 13回出場
京都橘単独チームで出場
ベスト8 (10月 東京)

- ◇全日本高校バレーボール選手権大会〈春の高校バレー〉
ベスト8 (1月 東京)

藤本果歩さん：バレーボールVリーグの東レ・アローズに入団

男子サッカー部

- ◇国民体育大会〈少年男子〉
京都選抜チーム出場
(10月 東京)
◇AFC U-19 選手権アジア大会
2014 (10月 中国)
◇全国高校サッカー選手権大会
第3位 (1月 東京)
◇小屋松知哉君：サッカーJリーグの名古屋グランパスに入団
永井建成君：サッカーJリーグのロアッソ熊本に入団

卒業生の皆様へ

2014年度 春光会総会・懇親会のご案内

本年度の春光会総会・懇親会を下記のとおり開催いたします。同窓生の皆様お誘いあわせの上、懐かしいひとときをお過ごしくださいますようお願い申し上げます。

なお、今年度は、退職教職員の会である「橘翔会」と教職員との合同で懇親会を開催いたします。懐かしい恩師もたくさんお見えの事と思いますので、ぜひご参加ください。

記

- 日 時 2014年6月21日(土) 午前11時00分(受付は10時30分より)
- 場 所 ホテルグランヴィア京都
京都市下京区烏丸通塩小路下ル JR京都駅中央口 TEL(075) 344-8888
- 内 容 会務・会計報告・予算案・懇親会
- 会 費 8,000円(学生・未成年の会員は4,000円)

■ ご出席のお申込は、会費の納入ををもって受付をさせていただきます。
なお、準備の都合上お振込は6月17日(火曜日)までをお願いします。

お店探訪

シリーズ⑧

今回は、小川美香さん(昭和五十四年卒業 旧姓大島さん)がマネージャーをされているフォトギャラリー「飛鳥園」をご紹介します。

奈良国立博物館と路をへだてた春日野の一角にある「飛鳥園」は、大正十一年に写真家で画家の小川晴暁氏(ご主人の祖父)により創業され、平成十三年に現在のたたずまいへと改築されました。



た。

「飛鳥園」は仏像など文化遺産の写真を中心とした仏像写真ギャラリーと離れには茅葺きの特別展示室、さらにティーガーデンが設けられています。このティーガーデンは隣接する氷室神社と県営古城園の見事な樹木を生かした素敵な空間となっており、自然の中で歴史を感じながらゆったりとした時間を過ごすことができます。フォトサロンには有名な仏像や寺社仏閣のポストカードのほか、京都龍村美術織物の財布や、茶道用小物類。鹿の角を用いた茜染めのアクセサリーなど、素敵な品々が数多く展示され同時に販売もされています。

離れのギャラリーは興福寺の古材が



使われており、インドネシアの屋根と見事な調和で古都奈良の街での癒しの空間となっております。特に魅力を感じたのは、ギャラリーに展示してある一枚の写真、交脚菩薩像(コウキヤクボサツゾウ)中国雲崗石窟(ウンコウセツクツ)第一五洞(五世紀)です。美香さんのお気に入りでもあるそうですが、何とも言えないやさしい表情の中にもすべてを知りつくした貫禄と偉大さがあり、見ているうちに少しずつ表情を

変えておられるようなそんな不思議な仏像の写真に出会いました。

美香さんは「飛鳥園」を訪れたお客様が、古くから受け継がれてきた「祈り」のかたちである仏像を身近に感じて、心から癒されていたければ」と思いを語ってくださいました。

みなさんもぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。素敵な時間を過ごせますよ。



〒630-8213

奈良市登大路五九

TEL 0742-22-5883

営業時間 10:00~18:00

* 1月~3月は17:00まで

定休日 毎月曜日(祝日は営業)